



沖縄別院で報恩講法要

親鸞聖人のご遺徳を偲んで集う



法要は「報恩講」として大切に勤めされました。
安里さん結衆として出勤
今回の法要では特区内寺院の安里正輝さん(大典寺衆徒)に結衆として出勤いただき、奉讚大師作法第一種をお勤めしました。お勤めの後、中岡輪番による『御俗姓』の拝読、並びに挨拶がありました。

胸をつつ漢見師のご法話

前日に開催された第2回沖縄特区実践運動推進研修会に統いて、漢見覚恵師(本願寺派布教使・滋賀教区彦根組純正寺住職)を講師にお招きし、「法話をいたしました。法話後、一同で仏教讃歌「報恩講の歌」を齊唱し、法要は終了しました。

なごやかにお斎をいただく
法要後はご参拝の皆さんとお斎(お弁当)をいただき、宗祖のご遺徳を偲ばせていただきました。

「花まつり」は、沖縄別院で4月13日(日)に、久米島布教所では20日(日)に行います。

「花まつり」は、沖縄別院で5月18日(日)に、久米島布教所では11日(日)にお勤めします。

花まつりとは、仏教をひらかれて

「花まつり」は、沖縄別院で4月13日(日)に、久米島布教所では20日(日)に行います。

「花まつり」は、沖縄別院で5月18日(日)に、久米島布教所では11日(日)にお勤めします。

花まつりとは、仏教をひらかれて



↑沖縄別院本堂の内陣と、その前におかれた花御堂

↓花御堂の誕生仏に、甘露の雨を意味する甘茶をかけて祝う



それなお誕生日には、お徳を讃え仏さまのお話を聞かせていただく場として全国の寺院でお勤めがされます。



ある皆さんも是非お参りをいただき、ご先祖のことやご自身の生き方を見つめなおす機縁としましょう。どうぞお気軽にお越しください。↓降誕会のあと、皆でお斎をいただく



2月10日(月)、北豊教区(福岡県京仲組の75名が沖縄別院に参拝されました。満堂となつた本堂にはお念仏の声があふれ、皆さんは沖縄の歴史・別院の沿革など学び多き一日となつたことを喜んでおられました。

ハイサ!!

沖縄へようこそ





多くの参りがあり、法要中に本堂に入りきれない人も。法要後、順にお参りし、鐘を撞いていただいた



2024年末の行事



小さな子どもから大人まで楽しんだ「もちつき大会」。自衛隊の方々の力強いもちつきは必見

だきました。

境内では、例年と同様にご門徒の皆さんにお手伝いいただき、温かい飲み物や参拝記念のカレンダー、お子さんにはお菓子の配布をしていた

時頃には終了となりました。

昨年末の12月31日(火)、沖縄別院本堂にて午後11時30分から除夜会を修行し、約600名の方にご参拝いただきました。

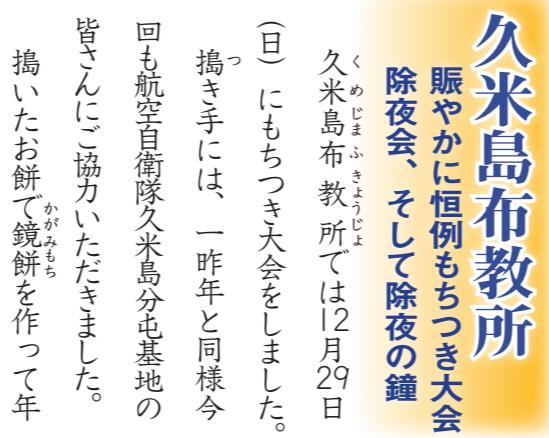
除夜会の法要後、中岡順忍輪番が新年を迎えるにあたり一年を振り返って挨拶し、除夜の鐘を撞き始めました。つづいて、参拝の皆さんが思い思いに一年を振り返って鐘を撞き、午前2時頃には終了となりました。

境内では、例年と同様にご門徒の皆さんにお手伝いいただき、温かい飲み物や参拝記念のカレンダー、お子さんにはお菓子の配布をしていた

だきました。

沖縄別院 除夜会

除夜の鐘に長蛇のお参り
鐘をつき、ホットドリンクであたたまる



久米島布教所

賑やかに恒例もちつき大会

除夜会、そして除夜の鐘

久米島布教所では12月29日

(日) にもちつき大会をしました。

搗き手には、一昨年と同様今

回も航空自衛隊久米島分屯基地の

皆さんにご協力いただきました。

搗いたお餅で鏡餅を作つて年

末年始と仏さまにお供えし、また、皆でおいしくいただきました。

31日には約200名の参拝者があり、皆さんと共に去る一年

を振り返り、新年に思いをはせながら除夜の鐘を撞きました。

小さな子どもから大人まで楽しんだ「もちつき大会」。

自衛隊の方々の力強いもちつきは必見



旧暦の1月16日は十六日祭(あぐールクニチ)です。沖縄各地では親族が集まり、お墓やお仏壇に参りをします。

今年の十六日祭は2月13日(木)でした。沖縄別院、天久礼拝所、久米島布教所にて、納骨堂総追悼法要と十六日祭法要を併修しました。

沖縄別院では午前・午後の2座、法要をし、法要後には中岡輪番が法話(仏さまのお話)をしました。

納骨堂では一日を通して多くの方に参拝いただきました。

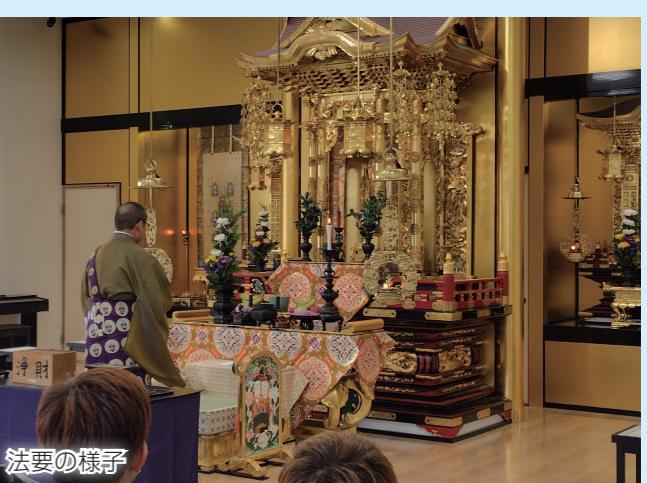
2月頃の沖縄は雨がちで、近年の十六日祭も雨の日が多く、ゆっ

くください。

沖縄文化としてお墓参りの時刻を気にされる方もおられるかもしませんが、浄土真宗においては、お墓・お仏壇へのお参りに時刻の決まりはありません。ご都合の良い時刻に、どうぞ皆さんでご参拝ください。



お焼香される参拝者の皆さん



法要の様子



くりお墓参りできなかつたとよく聞きます。以前は、朝から家族・親戚一同でお墓に参り、重箱料理等をお供えしてウサンデー(お供え物をいたしたこと)し、その後お仏壇にお参りされることが多かつたようですが、近頃は昼以降や、雨が止んでからのお墓参りが多くなつてきました。

今年は久米島布教所でも午前中の参拝はなく、昼から夜にかけてのご参拝でした。十六日祭に限らず、墓前では手を合わせるのみにとどめ、ウサンデーは自宅で行うご家庭も増えてきました。

沖縄文化としてお墓参りの時刻を気にされる方もおられるかもしませんが、浄土真宗においては、お墓・お仏壇へのお参りに時刻の決まりはありません。ご都合の良い時刻に、どうぞ皆さんでご参拝ください。